



【初回放送日 2018年3月9日(金)】

みなみの考え

いじめをこえて ～誰もが自分らしく生きられる！～



メキシコのイラストレーター、ヘラルドさんは、
「マンガを見ている時は、現実を忘れられたから、それを逃げ道にした」と言っていました。
自分らしさを取り戻すために“逃げてもいい”って
ということだと思う？

VTR メキシコのイラストレーター、ヘラルドさんの「自分らしく生きるきっかけ」

僕がいじめにあったのは小学生のころだ。何が起きているか分からなくてとても^{こわ}怖かった。
自分が無力に思えて、すごく^{こんらん}混乱したよ。
バッグを^{かく}隠されたり、どつかれたり 悪口を言われた。
休み時間は教室の外に出たくなかった。気付かれないように柱の^{かげ}陰に^{かく}隠れたりした。
自分の世界に引きこもって、外になんか出たくなかった。
僕はマンガやアニメが大好きだった。
マンガを見ているときは、現実を忘れられたから。
それを逃げ道にしたんだ。
時間が経って、僕はイラストレーターになった。
^{しゅみ}趣味を仕事にして、生きがいできた。
世界や物語を生み出すことができるし、何にも^{こわ}怖がることなく感じたことを表現できる。
仕事を通じて自分と同じ^{きょうぐう}境遇の人や、友だちや同じ^{しゅみ}趣味を持つ人と知り合いになったよ。
きっと同じ^{かちかん}価値観の仲間を見つけられる

ヘラルドさんが自分らしく生きられるようになったきっかけ、
高橋さんはどう思いますか？



高橋さん

アニメやマンガがヘラルドさんにとっての逃げ道になっていたという話でした。
何か「逃げる」ってちょっと嫌な言葉に聞こえがちかもしれないですけど
自分にここはあっていないんじゃないかなって思ったら、スッと角度を変える。
逃げるということは^{せんたくし}選択肢を増やすこと。角度を変えることだと思うので、
私は、逃げ続けていますよ。

高橋さん

「ここ、自分は違うなあ」って思ったら、「じゃあ違う道だ、右だ！」「右がダメなら左だ！」という風に、どんどん模索していくこと。
逃げること、大好きです！

逃げることは選択肢を増やすこと

高橋さん

私もしんどい時や、疲れている時こそ絵を描くんですね。
本当に忙しいAKBを卒業する時期に、睡眠時間が2時間くらいしかないのにずっと絵を描いている時がありました。
ONE PIECEの絵を描いていましたね。
ルフィの絵や、仲間の絵を描いていると、
「ああルフィは頑張っているから私も頑張らなきゃ」みたいになるんですね。



へえ～。

ただ逃げるんじゃなくて 何かに没頭 するんですね？

高橋さん

何もやらない状態って、一番私の中で“危ない時間だな”とあっていて。
あまりに自分一人の時間が長すぎると迷路に迷いこんじゃうんですよ。
出口のない迷路に迷いこんでしまう。
「もう自分がここからいなくなった方が楽かもしれない」みたいな、
すごい結論にいたってしまう時があって。
それよりも何かに冒頭すること集中すること。
何も考えず、好きな絵をガ～って描いていると、何か違う世界に行けるんですよ。」

何かに没頭し 現実から逃げる

エイミーさん、タカヒロさん、ヘラルドさん、三人のエピソードを見て、「自分らしく生きるために大切なこと」って何だと思いましたか？



高橋さん

そうですね。自分を認めてあげること。そして、自分を認めてくれる仲間がいたら幸せだなんて思います。

一人でももちろん乗り越えられる方もいると思うんですけど。

一人の力って、大きくもあり微力びりょくであると思うので。

やっぱり一緒にすすんでくれる仲間と手をとるあうことで、大きな力にもなりますから。

うんでも、ただやっぱり、言いたいことは生きていてほしいななことですね。

私は、まだ今年27歳ですけど、そんな自分でも知らない自分があるし、

きっと大人の方でも知らない自分がある。

生きている限り、多分知らない自分っていると思うんですよ。

だからこそ生き続けなきゃいけないと思いますけど。



あなたは、誰もが自分らしく生きるために大切なことは何だと思った？

自分が自分らしく生きるために。
友だちのAさんがAさんらしく生きるために。

など、色々な立場の人に立って考えてみてね。